

【質問】 新型インフルエンザの予防接種が始まったようですが、申し込み方法などをお教えてください。
(40歳・男性会社員)



新型インフル ワクチン接種は

【回答】 新型インフルエ

ンザのワクチン接種が10月下旬から始まりました。新型インフルエンザの病毒性は季節性とそれほど変わりませんが、新型に対してヒトは免疫を持たないので、新型の感染力は季節性に比べ2〜3倍強いとされています。冬季に大流行するの間違いなさそうです。注意が必要なのは、基礎疾患（持病）がある人や妊婦、幼児などの抵抗力が低

かかりつけ医に申し込みを

じめ決められています。10月19日から医療従事者の接種が始まり、妊婦や重症の

を提示しています。基準に満たない人は後回しにされるか、接種できなくなるかもしれませんが、限られたワクチンを有効に使うためと了解してください。

接種は国が委託する医療機関で行います。医療機関名は公表されます。接種を

下した人の重症化です。新型のワクチン接種は重症化を防ぐために行われます。国が予定しているワクチンの量は、国内産2700万人分、海外産5000万人分です。まず国内産から接種を開始し、海外産は1月から接種する予定です。接種の優先順位はあらかじめ

持病を持つ人が11月から、その他の持病のある人や1歳から小学校3年生が12月から始まり、年明け1月から1歳未満の乳児の保護者や小学4年生から中学生、高校生、65歳以上の高齢者の順で接種されます。厚生労働省は優先される持病の種類や重症度の基準

希望する人はかかりつけの医療機関に申し込んでください。かかりつけ医のところで接種できない場合は優先接種対象者である旨の証明書が発行されるので、他の医療機関で接種することができます。接種回数は7日以上の間隔を空けて2回としていま

持病ある人や妊婦が優先

したが、厚労省は原則1回とすることも検討しています。季節性インフルエンザのワクチンとの同時接種は医師が必要と認めれば可能です。新型ワクチンの費用は1回目3600円、2回目2550円、合計6150円です。生活保護世帯は無料で、非課税世帯についても軽減措置があります。ワクチンによる副反応に對して、国は補償する予定です。ワクチンの副反応より、新型インフルエンザの健康被害の影響がずっと大きいのです。対象者はぜひワクチン接種をお勧めします。今後、接種方法が変更される可能性があるため、報道に十分注意してください。

(県医師会)